

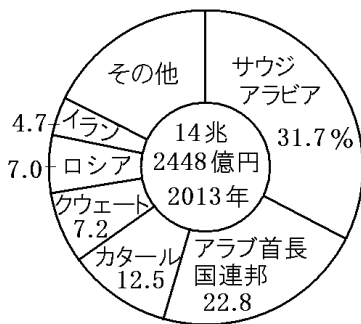
【FdData 中間期末：中学社会地理：資源】

【日本の資源輸入】

[石油の輸入先]

[問題](3 学期)

次のグラフは、ある資源の日本の輸入先である。  
この資源を次の[ ]から選べ。



[ 鉄鉱石 石炭 石油 ]

[解答]石油

## [解説]

[日本の石油の輸入先]

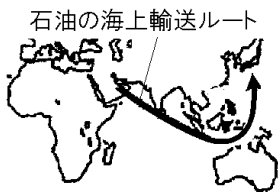
[西アジア] の [ペルシャ湾] 沿岸の

[サウジアラビア] などから約8割



日本の石油輸入の  
約8割は西アジア  
のペルシャ(ペル  
シア)<sup>わん えんがん</sup>湾沿岸の  
国々からである。

その中でも多いのが、サウジアラビアとアラブ  
首長国連邦<sup>しゅちやうこくれんぽう</sup>である。石油はタンカーを使って日本  
へ海上輸送される。



【問題】(後期中間)

次の文の①は( )内より適語を選び、②、③は適語を入れよ。

日本の石油輸入先は、①(東アジア／東南アジア／西アジア)の( ② )湾沿岸の国々である。その中でも、日本の最大の石油輸入国は( ③ )である。

【解答】① 西アジア ② ペルシャ(ペルシア)  
③ サウジアラビア

【問題】(3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 日本がもっとも多く石油を輸入している国を次の[ ]の中から選べ。  
[ ブラジル 中国 サウジアラビア  
アフガニスタン ]
- (2) 世界の約半分の石油が埋蔵されているといわれている地域を次の[ ]の中から選べ。  
[ 中国東北部 アメリカ西海岸 アラスカ  
ペルシャ湾沿岸 ]

【解答】(1) サウジアラビア (2) ペルシャ湾沿岸

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

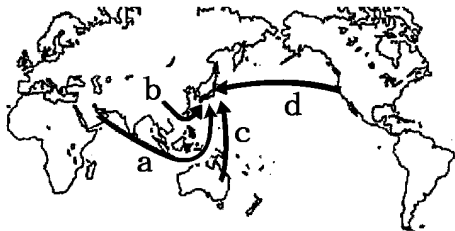
- (1) ペルシヤ湾の周辺でさかんに産出される鉱産資源は何か。
- (2) (1)の資源は, 日本へどのような輸送手段を使って運ばれてくるか。次の[ ]の中から 1 つ選べ。

[ 海上輸送 陸上輸送 航空輸送 ]

[解答](1) 石油 (2) 海上輸送

[問題](2 学期期末)

次の地図中の→は, 2013 年におけるわが国の石油, 石炭, 小麦, 衣類の最大の輸入国からの流れを表している。石油にあてはまるものを, a~d から 1 つ選べ。



[解答]a

## [解説]

aは石油でサウジアラビアからの輸入(全輸入量の31.7%), bは衣類で中国からの輸入(同74.6%), cは石炭でオーストラリアからの輸入(同64.3%), dは小麦でアメリカからの輸入(同51.5%)を表している。(2013年統計)

## [問題](3学期)

次の( )にあてはまる資源名を答えよ。

日本のエネルギー消費の約半分を占める( )は、ほぼ100%を輸入にたよっている。

## [解答]石油

## [解説]

日本の1次エネルギー供給割合(2012年)は、石油(47.3%)・石炭(22.6%)・天然ガス(22.5%)・原子力(0.6%)となっている。石油, 石炭, 天然ガスは国内ではほとんど産出しないため、ほぼ全量を輸入に頼っている。

[鉄鉱石・石炭の輸入先]

[問題](3 学期)

日本は鉄産資源の多くを輸入にたよっている。鉄鉱石と石炭に共通する輸入相手国第1位の国はどこか。国名を答えよ。

[解答]オーストラリア

[解説]

[鉄鉱石・石炭の輸入先]

ともに、**オーストラリア**からの輸入が半分以上

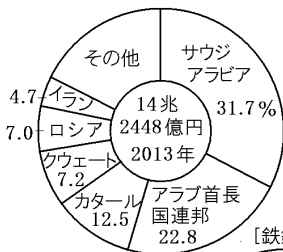
鉄鉱石:オーストラリア, ブラジル

石炭:オーストラリア, インドネシア, カナダ

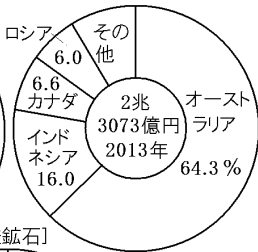
せきたん てっこうせき  
石炭と鉄鉱石は、ともにオーストラリアからの輸入が第1位である。鉄鉱石と石炭のグラフを見分けるポイントはブラジルである。ブラジルは鉄鉱石の生産量が世界2位であり(1位はオーストラリア)、日本はオーストラリアに次いでブラジルから大量の鉄鉱石を輸入している。鉄鉱石と石炭の輸入統計はよく出題される。鉄鉱石は1位オーストラリア・2位ブラジル、石炭は1位オーストラリア・2位インドネシアと覚えておく。

日本のエネルギー・鉱産資源の輸入先

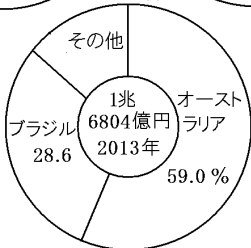
[石油]



[石炭]



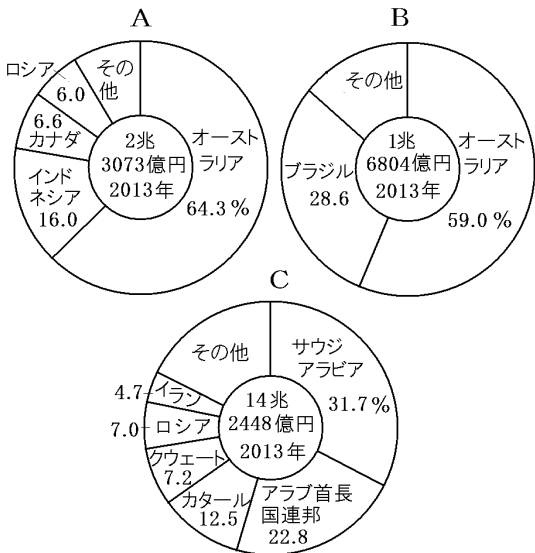
[鉄鉱石]



[問題](後期中間)

下のA~Cは天然資源の輸入先を示している。  
 それぞれ何という天然資源を示しているか。次の  
 [ ]の中からそれぞれ選べ。

[ 石油 鉄鉱石 石炭 ]

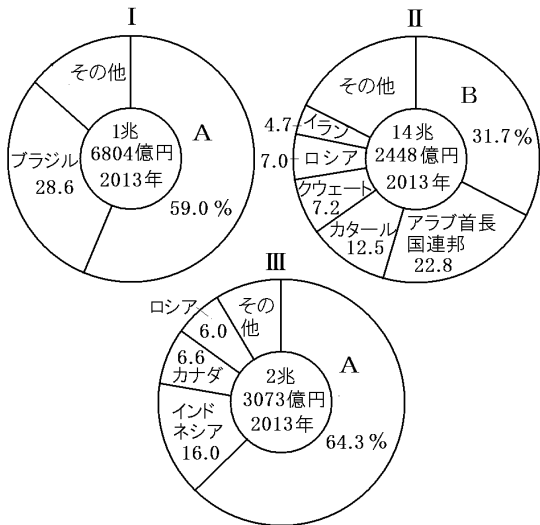


[解答]A 石炭 B 鉄鉱石 C 石油



【問題】(1 学期期末)

グラフⅠ～Ⅲは、石油、石炭、鉄鉱石のいずれかの日本の輸入先を示している。グラフを見て、後の各問いに答えよ。



- (1) グラフ中の A, B にあてはまる国名を次の [ ] からそれぞれ選べ。  
[ アメリカ オーストラリア  
サウジアラビア ]
- (2) グラフⅡは、何の資源の輸入先を表しているか。

[解答](1)A オーストラリア B サウジアラビア

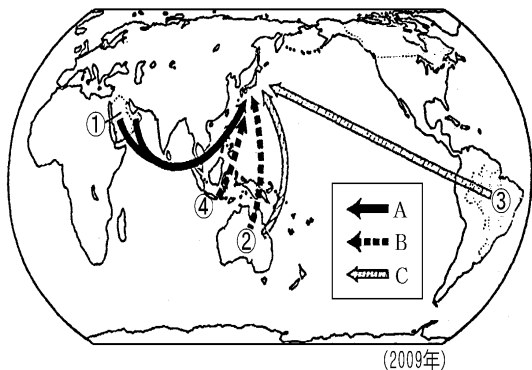
(2) 石油

[解説]

Iは鉄鉱石、IIは石油、IIIは石炭の輸入先を表している。

[問題](2 学期中間)

資料を見て、次の各問いに答えよ。



(1) 地図は、日本に輸入される資源の輸入先上位2か国を示したものである。A～Cにあてはまる資源を、次から選んで書け。

[石油 石炭 木材 鉄鉱石]

(2) A～Cの資源を輸出している、地図中の①～④の国名をそれぞれ書け。

[解答](1)A 石油 B 石炭 C 鉄鉱石

(2)① サウジアラビア ② オーストラリア

③ ブラジル ④ インドネシア

[解説]

Aは中東の2か国が輸入先になっているので石油であることがわかる。(石油第1位は①のサウジアラビア, 第2位はアラブ首長国連邦) Cは②のオーストラリアと③のブラジルが上位2か国なので鉄鉱石と判断できる。Bは②のオーストラリアと④のインドネシアが上位2か国なので石炭と判断できる。

[問題](後期中間)

鉄鉱石の輸入依存度はどれくらいか。次の  
[ ]から選べ。

[100% 80% 70% 50%]

[解答]100%

[解説]

エネルギー資源については、1960年代まで、日本も石炭や石油の生産に努力をしてきた。しかし埋蔵量まいぞうりょうが少なく、品質もよくないため、品質がよ

くて値段も安い外国の鉱産資源を利用するようになった。国内の金属鉱山は、そのほとんどが閉山し、大規模開発で残っているのは、世界屈指の<sup>くっし</sup>鉱石品位を誇る鹿児島県の<sup>ひしかり</sup>菱刈金鉱山のみになった。

◆社会地理の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sc3/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

[http://www.fdtype.com/dp/qanda\\_k.html](http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html)

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)  
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、  
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : [info2@fdtype.com](mailto:info2@fdtype.com)